

理科・環境教育助成 成果報告書

第3回 期間：2005年11月～2006年10月

氏名：古宮崇博 所属：浜松市立有玉小学校

課題名：子どもたちの心が落ち着く有玉小科学館

1. 課題の主旨

近年子どもたちの理科離れが叫ばれていますが果たしてそうだろうか。子どもは元来自然現象や生き物には興味関心がある。理科離れは我々教員がその機会を奪ったり、「しあわせ」をしていないからではないだろうか。教室に入れない子やADHD児LD児など発達障害のある子は特に自然や科学に興味関心が強いことが分かった。

そこで理科室を有玉小学校科学館とし、子ども達が興味関心を持つような科学や生き物の展示をすることで子どもたちの理科離れを予防することはもちろん、発達障害のある子どもたちの心の落ち着く居場所作りにもなると考えこの研究をすることにした。

2. 活動状況

毎月テーマを決めて有玉小科学館（理科室）の展示を毎月変えつぎのような展示をした。

1月	磁石	…磁石で方位 砂鉄のお絵かき いろいろな電磁石
1月	世界の塩	…死海の塩 ウサヌーン インディオの秘塩ローズソルト モンゴルの塩
1月	静電気	…鉛筆も静電気で動く 仲直りの風船 静電気モーター 電気クラゲ
2月	不思議	…不思議ボトル 正多面体 ふしぎなごえん 透明電卓
3月	ミクロの世界…星の砂	シダの胞子嚢 テントウムシ カラー写真
4月	春	…ダンゴムシの迷路 シロバナタンポポ カラスノエンドウ カスマグサ
5月	錯覚	…どちらがでかプリン 曲がる鉛筆 割り箸と爪楊枝
6月	バランス	…バランスチェア バランスクラス ホウネンエビ ミジンコ
7月	夏	…風鈴 ハッピーバード ウォーターゲーム
9月	発掘	…発掘体験 とつぜんザウルス 生きた化石 サトイモの花
10月	立体	…立体地図 塩で立体を作る

常設の展示はつぎのものである。

馬込川の生き物（実物展示）	… フナ ドジョウ モロコ メダカ 実際に飼育
有玉小の四季（写真展示）	… 四季別植物の写真と名前をパネル展示
鳥（鳴き声の再生）	… アオサギ、マガモ、の鳴き声をテープレコーダーで再生
パズル・ゲーム（体験）	… 恐竜や人体のジグソーパズル、ベンハムゴマなど



3. 結果

月毎展示を変え興味関心を誘ったところ、休み時間、昼休みはもちろんのこと放課後多くの子どもたちが有玉小科学館を訪れ遊ぶようになった。

有玉小科学館で遊ぶことで、日ごろから理科に対するベースができてきたので、理科の授業や実験でも工夫が見られるようになった。

また、ADHD児がキレタときのクールダウンの場所として有玉小科学館に連れて行ったところ落ち着き、教室に戻ることができた。

毎月学校だよりで地域に回覧したところ地域の人たちも見に来るようになった。

4. 今後の課題と発展

浜松市内の小中学校理科教師の研修会で、有玉小科学館の様子や月別展示について紹介したところ研修会に参加した多くの教師が関心を示したので、他校でもすぐ実践できるよう資料を配付した。

有玉小科学館の展示は現在も続けている。それが発展して昼休みに理科実験や理科工作をする理科講座を開くようになり、理科好きな子が増えた。

今回理科室で行ったが、今後は校舎外でも実施していきたいと考えている。

5. 発表論文、投稿記事及び当財団へのご意見など

小中学校への助成は大変助かります。地元ディーラーと協力して、お互いの場所に展示できるようになると効果が大きいと思います。